

## 神奈川県 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

## (1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年	2022年	2023年	2030年（目標値）	達成度（%）
1	未病産業及び再生医療等関連産業の県内市場規模【3.8,9.5】	2014年 1,000 億円	2021年 - 億円	2022年 - 億円		2030年 3,780 億円	-
2	再生可能エネルギー等による発電量【7.2,7.3,9.4,9.5】	2018年 32.54 億kWh	2020年度 34.26 億kWh	2021年度 34.34 億kWh		2030年 104.55 億kWh	2%
3	平均自立期間(日常生活動作が自立している期間の平均) 男性【3.d,9.5】	2016年 79.98 年	2019年 80.40 年	2020年 - 年		2030年 82.48 年	-
3	平均自立期間(日常生活動作が自立している期間の平均) 女性【3.d,9.5】	2016年 83.91 年	2019年 84.33 年	2020年 - 年		2030年 85.47 年	-
4	未病指標利用者数(累計)【3.d,9.5】	2020年 0 万人	2021年 5.8 万人	2022年 17.1 万人		2030年 100 万人	17%
5	「SDGsつながりポイント」ユーザー数【17.17】	2020年 2,000 者	2021年 12,941 者	2022年 21,624 者		2030年 20,000 者	109%
6	25～44歳の女性の就業率【8.5,10.2】	2019年 75.9 %	2021年 76 %	2022年 78.8 %		2024年 80.5 %	63%
7	県内の年間電力消費量に対する分散型電源による発電量の割合【7.1,7.2,7.3,3.9】	2018年 15.7 %	2020年度 20.4 %	2021年度 20.3 %		2030年 45 %	16%
8	神奈川県における温室効果ガス排出量の削減割合（2013年度比）【13.2】	2017年 5.7 %削減	2020年度(速報値) 12.6 %	2021年度(速報値) 19.3 %		2030年 27 %削減	64%
9	リサイクルされない、廃棄されるプラスチックごみゼロ【12.5,14.2】	2016年 -	2021年 -	2022年 -		2030年 実現	-

## (2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2021年～2023年）

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度（%）
1	新産業・新市場の創出 (ヘルスクエア・ニューフロンティア政策の推進)	未病産業研究会を通じた未病産業関連商品の事業化件数(累計)	2020年 75 件	2021年 102 件	2022年 132 件		2023年 175 件	57%
2		県の支援を受けて、県内に集積する最先端医療関連のベンチャー企業数(総数)	2020年 33 社	2021年 51 社	2022年 70 社		2023年 65 社	116%
3	エネルギー関連産業の促進	太陽光発電設備の導入量(累計)	2018年 92.2 万kw	2020年度 97.0 万kw	2021年度 102.7 万kw		2023年 455 万kw	3%
4	スマートエネルギーの経済性向上	水素ステーション整備箇所数(累計)	2020年 13 箇所	2021年度 16 箇所	2022年度 17 箇所		2023年 35 箇所	18%
5	Society5.0の推進	自動運転実用化への支援	2019年 2 件	2021年 3 件	2022年 0 件		2023年 実証実験への継続した支援	-
6		スマート農業技術導入戸数(累計)	2018年 122 戸	2021年 226 戸	2022年 287 戸		2023年 289 戸	99%
7	ロボット関連産業の創出・育成	生活支援ロボットの商品化件数(累計)	2019年 25 件	2021年 39 件	2022年 42 件		2023年 45 件	93%
8		生活支援ロボットの導入施設数(累計)	2019年 324 件	2021年 456 件	2022年 512 件		2023年 450 件	114%
9	ウィズコロナ時代における社会経済活動の維持・発展	LINE公式アカウント「新型コロナ対策パーソナルサポート(行政)」登録者数(累計)	2020年 700,000 人	2021年 1,539,385 人	2022年 1,665,649 人		2023年 新型コロナウイルス感染症の状況をみて対応	-
10		感染防止対策取組書 登録件数	2020年 76,000 事業所	2021年 142,640 事業所	2022年 158,479 事業所		2023年 新型コロナウイルス感染症の状況をみて対応	-
11	SDGs自分事化、コミュニティの活性化	「SDGsつながりポイント」ユーザー数	2020年 2,000 者	2021年 12,941 者	2022年 21,624 者		2030年 20,000 者	109%
12	官民情報共有・整備の推進	県によるオープンデータの公開テーマ(データセット)数	2020年 127 件	2021年 219 件	2022年 259 件		2022年 140 件	1015%
13	「ともに生きる社会かながわ」の推進	県内のグループホームサービスの利用人数	2019年 9,442 人	2021年 11,174 人	2022年 12,140 人		2023年 11,448 人	134%
14		県内民間企業における障がい者雇用率	2019年 2.09 %	2021年 2.16 %	2022年 2.2 %		2023年 2.36 %	93%
15	2050年脱炭素社会の実現に向けた取組	神奈川県における温室効果ガス排出量の削減割合(2013年度比)	2017年 5.7 %	2019年度(確定値) 14.3 %	2020年度(速報値) 19.3 %		2023年 13.5 %	174%
16		マイエコ10(てん)宣言の宣言者数(累計)	2019年 276,721 人	2021年 290,840 人	2022年 300,361 人		2023年 365,000 人	27%
17	分散型エネルギーシステムの構築	県内の年間電力消費量に対する分散型電源による発電量の割合	2018年 15.7 %	2020年度 20.4 %	2021年度 20.3 %		2023年 25 %	49%
18		ZEHセミナーの参加事業者数(累計)	2019年 - 人	2021年度 25 人	2022年度 72 人		2023年 120 人	60%
19	気候非常事態への対応(風水害対策の強化)	水防災戦略の推進 ・水害からの逃げ遅れゼロ ・県民のいのちを守り、財産・生活等への被害を軽減	2018年 -	2021年 -	2022年 -		2023年 実現	-
20	かながわSDGsパートナー	かながわSDGsパートナー数	2020年10月 333 者	2021年 502 者	2022年 958 者		2023年 600 者	234%
21		かながわSDGsパートナーマッチング機会参加者数(累計)	2020年10月 400 者	2021年 426 者	2022年 1917 者		2023年 900 者	303%
24		かながわSDGsアクションファンドを利用したかながわSDGsパートナーのプロジェクト数	2020年10月 0 件	2021年 2 件	2022年 2 件		2023年 60 件	3%
22	SDGs社会的インパクト評価	SDGs社会的インパクト評価を活用した投融資件数(累計)	2020年10月 16 件	2021年 23 件	2022年 28 件		2023年 20 件	300%
23		かながわSDGsアクションファンドにおける機関投資家による投資	2020年10月 -	2021年 導入	2022年 導入		2023年 導入	100%
24	中小企業のSDGs経営に向けた伴走型支援	伴走型支援企業数(累計)	2021年3月 3 社	2021年 7 社	2022年 11 社		2023年 20 社	47%

## (3) SDGs未来都市計画推進のKPI達成に係る評価及び課題等

## ○「未病産業及び再生医療等関連産業の県内市場規模」

平成30年度に当時の既存調査や国の資料等の推計値を基に算出していたが、現段階では更新されたデータが存在せず、数値の推移を把握することが困難な状況にある。

## ○「平均自立期間(日常生活動作が自立している期間の平均)」

次回は2022年実績値を2024年度に公表予定。2019年は男性80.40年、女性84.33年であり、2016年当初値から延伸傾向にある。

## ○未病指標利用者数(累計)

コロナの影響により普及啓発のイベント等が中止となったが、企業と連携したキャンペーンの実施等の積極的な普及活動により、目標を達成することができた。

## ○「25～44歳の女性の就業率【8.5,10.2】」

2021年度実績はコロナ禍の影響もあり数値が低かったが、2022年度は回復傾向にあり順調に進捗している。2030年の目標に向けて順調に進捗しており引き続き第3期計画で進捗を確認していく。

## ○「リサイクルされない、廃棄されるプラスチックごみゼロ【12.5,14.2】」

本指標は進捗を数値化できるものではないが、目標となる2030年までの「リサイクルされない、廃棄されるプラスチックごみゼロ」に向け、①ワンウェイプラの削減、②プラごみの再生利用の推進、③クリーン活動の拡大の推進方策を引き続き進めていく。

## ○未病産業研究会を通じた未病産業関連商品の事業化件数(累計)

未病産業研究会を中心に、企業との個別相談やオンラインセミナーを実施したが、コロナの影響により、実地でのマッチング機会が減少したことから目標の達成には至らなかった。今後は、展示会との連携や未病関連の商品・サービスに関する普及を促進するとともに、未病関連の商品未病産業研究会の会員企業間の連携を中心に、地域の課題解決に向けたビジネスモデルの検討や、未病産業関連商品・サービスの活用を促進していく。

## ○「スマート農業技術導入戸数(累計)」

・県が作成した施設園芸農家向けマニュアルを活用した技術導入の支援などにより、スマート農業技術導入戸数は毎年順調に増えている。支援などの取組みを継続し、引き続きスマート農業技術の導入促進を図る。

## ○「県内民間企業における障がい者雇用率」

・県内の民間企業の障がい者雇用率は、年々上昇し、令和4年度の雇用率は過去最高を記録したが、法定雇用率及び目標値は未達成の状態である。特に従業員数が少ない中小企業においては取組が進んでおらず、支援の強化が課題である。そこで、雇用率未達成の中小企業を主な対象として、個別訪問、フォーラムやセミナーなどにより、障がい者雇用の理解促進及び雇用機会の拡大を図る取組を進め、引き続き法定雇用率及び目標値の達成を目指す。

## ○「水防災戦略の推進 ・水害からの逃げ遅れゼロ ・県民のいのちを守り、財産・生活等への被害を軽減」

水防災戦略については、当初対策の柱としていた令和元年の台風被害の復旧と緊急整備に係る事業を概ね完了したことから、令和5年3月に改定を行った。引き続き、「水害からの逃げ遅れゼロ」、「県民のいのちを守り、財産・生活等への被害を軽減」という目標に向け取組みを推進していく。

## ○「かながわSDGsパートナーマッチング機会参加者数(累計)」

毎月かながわSDGsパートナーミーティングをオンライン等で開催することによりマッチング機会を創出し、300%を超えた。

## ○「かながわSDGsアクションファンドにおける機関投資家による投資」

今後は、インパクト評価のノウハウをより幅広い企業支援に活用できるよう、地域金融機関と連携したSDGsに関する金融商品等の組成に向けた支援に重点をシフトしていく。